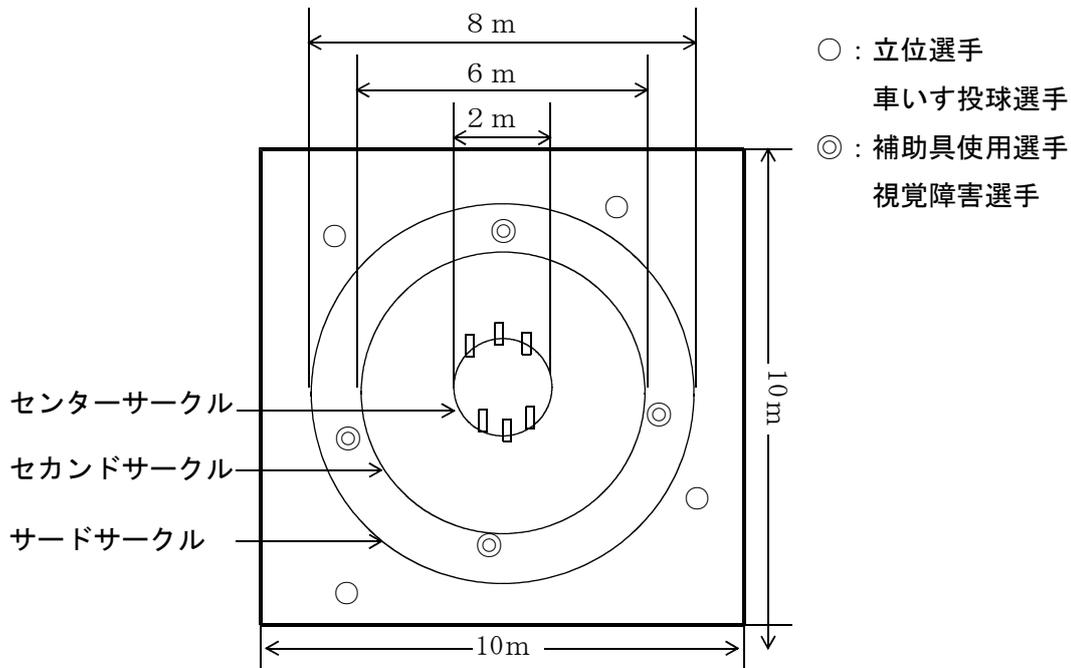


第24回秋田県特別支援学校総合体育大会 「ピン倒しボール競技」実施要項

- | | | | |
|---|------|---------------------------------|---------------|
| 1 | 日時 | 令和7年9月12日（金） | 10:30 ~ 14:30 |
| 2 | 会場 | ・秋田県立体育館 競技区分①～③
・自校会場 競技区分④ | |
| 3 | 監督会議 | なし ※事前資料を基にする。 | |
| 4 | 競技区分 | ①小学部 ②中学部 ③高等部 ④HOME | |
| 5 | 競技方法 | | |

(1) 競技形式及びチーム編成

- ・等間隔に配置された20本のピン（センターサークル上）を60個の硬式テニスボールで倒す。
- ・1回の競技時間を2分とし、1ゲームで2回競技する。
- ・2ゲーム（合計4回）行い、全てピンが倒れたときの1番早いタイムがチームの記録となる。2分経過後にピンが残っていた場合は、その本数が記録となる。
- ・HOMEにおいては、自校の判断により1チーム2ゲーム以内で設定する。
- ・サードサークル（直径8m）の外からボールを投球する。ただし、傾斜具（スロープ）を使用する選手、視覚障害選手の場合はセカンドサークル（直径6m）の外から行う。
- ・エントリーは、競技区分①～③については、各2チームまで（各校最大6チーム）とする。競技区分④HOMEについては、エントリーチーム数の制限を設けない。
- ・チーム編成は、①～③については所属学部でのエントリーのみとする。学部を超えたチーム編成は認めない。④HOMEは学部の区別はないチーム編成を可とする。
- ・ゲームは5名以内で行う。1チームの登録者数を原則5名とするが、最大7名まで認める。また、ゲームごとの選手交代を認めるが、競技中の交代は認めない。



(2) 競技規則（共通）

- ・選手1名につき1名の支援者を配置できる。また、傾斜具を使用する選手及び音源による誘導が必要な視覚障害選手に対し、追加で1名の支援者を配置できる。
- ・ピンの除去や散ったボールの運搬を行うためのピン除去者を、自校から支援者以外に3名まで配置できる。3名に満たない場合、その人数分を支援者が兼ねることができるが、生徒支援を優先し、その場を離れてのボール回収、運搬をしない。
- ・回収、運搬は手で行う。
- ・傾斜具を使用する場合、先端がセカンドサークルラインを越えないようにする（線上も不可）。
- ・一回の投球動作で投げられるボールは1個とする。複数のボールを持ったり、触れたりした状態で投げない。
- ・車いす選手が投球する場合、車いすの前輪がサードサークルラインを越えないようにする。
- ・計時は百分の一まで行い、最後のピンが倒れて床に着いたタイミングで計測終了とする。
- ・複数のチームが同記録になった場合、順位決定戦を行わず、複数表彰とする。
- ・表彰は競技区分毎に行う。
- ・県立体育館会場の競技審判は、特体連専門部員で行う。

(3) HOMEについて

- ・競技審判は、研修を受けた職員2名で行う。
- ・大会当日に競技を実施し、決められた時間までに各校の競技責任者が事務局へ報告する。
- ・複数のチームが同記録になった場合は、複数表彰とする。